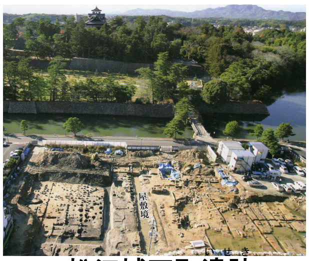
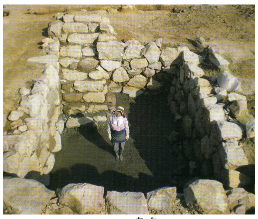
～武士のくらしを調べよう～

年　組　名前

松江城の東側で、堀尾氏時代の家老屋敷跡が発掘されました。そこから出てきた物を見ると、江戸時代の武士の家庭のくらしが見えてきます。

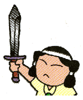

松江城下町遺跡


地下の穴の跡

出土した遺物

屋敷跡からは、石の列や穴、大量の陶磁器や土器、木製品、金属製品が見つかりました。

Challenge



① 左の写真のものは、現代でいうと何にあたるでしょう。
右のイラストを合うものを線で結びましょう。

茶道具

けしょう道具

書道具

おもちゃ

調理道具

灯り

下駄

人々は下駄をはいて城下を歩いていたようです。四角い下駄は男性用。丸いのは女性用、小さいのは子ども用。大人用の長さは20～22 ㎝のものが多かったです。

食生活

食べ物の残りかすも出土していて、イノシシやシカ、スッポン、タイ、スズキ、カモ、鵜、キジ、赤貝、シジミなどが見られます。

② 現代の道具と１番ちがっていると思う江戸時代の道具を選んで、どこがちがうか書きましょう。

- おもちゃは、木でできた物がほとんどで、刀などの武士の子どもらしいおもちゃだ。
- 灯りは、電気でなく、油を使って火で明るくしているところが違う。
- 調理道具は、金属やプラスチックのものがない。　など･･･